

◇ ◇ 第二種研究会開催案内 ◇ ◇

●第28回光通信システムシンポジウム「国際社会の期待に応える光通信技術～新たなイノベーションに向けて～」

実行委員長 富澤将人 (NTT)

実行副委員長 福知 清 (NEC)

光通信システム研究会 (OCS) では、毎年12月に第二種研究会として光通信システムシンポジウムを企画しています。本年も12月11日(木)、12日(金)の両日、第28回光通信システムシンポジウムを開催致します。

概要

最近、世界的に幅広く100Gデジタルコヒーレント技術などの日本発のイノベーション技術が社会実装され、現在400G/1T光通信技術の研究開発が進められています。今年28回目を迎える光通信システムシンポジウムでは、「今後も国際社会の期待に応える光通信技術を創出しつづける」ことを目的に、今回初めて海外から基調講演者をお招きし、国際社会から見た日本の光通信に期待される役割を議論し、新たなイノベーションに向けた方向性を展望します(同時通訳あり)。また関連するワークショップや招待講演、ランプセッションを企画しています。更に将来の担い手となる若手研究者によるポスターセッション、光通信用部品・計測機器等の光通信関連製品の展示会、及び委託研究等の最新研究成果を紹介する展示会も併設して開催致します。関係者多数の御参加をお待ちしております。

日時 平成26年12月11日(木) 12:30~21:30(受付は11:00より開始予定)

12日(金) 9:30~17:05(受付は8:30より開始予定。終了時刻は予定です)

会場 東レ総合研修センター(三島市末広町21-9。JR線:三島駅より徒歩12分、タクシー2分 [http://www.toray.co.jp/network/loc\\_401.html](http://www.toray.co.jp/network/loc_401.html))

[参加費、懇親会、宿泊]

参加費:会員8,000円、非会員11,000円、学生1,000円

懇親会:初日(11日)夕刻に開催

※宿泊については、OCSホームページにて最新の情報を御確認下さい。

[参加申込方法]

・光通信システム研究会(OCS)ホームページにて受け付けます。

<http://www.ieice.org/~ocs/jpn-new/index.php?FrontPage>

・会場、宿泊室の収容人員に限りがございます。御希望に添えない場合もあることをあらかじめ御了承下さい。

・お申込の際に連絡頂いた情報は、OCS研究会にて管理し、光通信システムシンポジウムの運営、及び、OCS研究会からの連絡以外の目的には使用致しません。

プログラム(タイトル等変更の場合有。最新プログラムは、OCSホームページを参照下さい。 <http://www.ieice.org/~ocs/jpn-new/index.php?FrontPage>)

11日

1. 2014年OCS表彰式

昨年9月~今年8月の光通信システム研究会で発表された論文から、特に優れた論文と若手講演者に対し、それぞれ論文賞と奨励賞を授与します。

2. 特別講演

スケーラブル大容量光トランスポート技術の最新動向 宮本 裕 (NTT)

3. ワークショップ1「実用間近400G/1T光通信技術」

(1) 400G/1Tデバイス・モジュール開発動向(仮) 巽 泰三(住友電工)

(2) 400GbE実現を目指して—IEEE802.3bs光変調技術動向— 高原智夫(富士通研)

(3) 400G/1T光通信を支える誤り訂正と符号化技術 水落隆司(三菱電機)

4. ポスターセッション

今回もポスターセッションを実施します。公募形式で原則33歳未満の方を対象とします(学術的内容に限ります)。

※前後半に分けて2部構成にて行います。

5. IEEE Communications Society JC招待講演(主催IEEE ComSoc JC)

WiFi関連(仮)(講演者調整中)

◎18:00-19:30に懇親会を行います。

6. ランプセッション「シリコンフォトニクスは革新的? 実用的?」

OCS研究会は、今年度から新たな領域探索を目指し、デバイスのシステム応用の分野において「光通信用新機能デバイス、光集積回路」を新たなトピックスに加えました。そこで今回のランプセッションでは、近年注目されるシリコンフォトニクスをテーマに、その技術について話題提供頂き、御参加頂く皆様と議論を行い、理解を深めたいと思いま

す。皆様の御参加をお待ちしております。

オーガナイザ 五十嵐浩司（阪大）

12日

7. IEEE Photonics Society JC 招待講演（主催 IEEE PS JC）

エラスティックネットワーク技術 神野正彦（香川大）

8. 招待講演

（1）光衛星間通信 高山佳久（NICT）

（2）スマートハウス分野におけるホームネットワークの標準化動向 山崎毅文（NTT）

（3）8K スーパーハイビジョンとパブリックビューイング 井口和久（NHK）

9. 基調講演（同時通訳あり）

R & D to Business in Competing Environment and Some Thoughts for Japan-based Organizations（仮）

Vincent W.S. Chan（マサチューセッツ工科大）

10. ワークショップ2（同時通訳あり）

世界から見た日本の光通信技術への期待

（1）Atul Srivastava（NEL-America）

（2）Emmanuel Le Taillandier de Gabory（NEC）

（3）Yun Set Sze（アルネアラボラトリ）

（4）パネルディスカッション（講演タイトル調整中） 基調講演者及びワークショップ2講演者

[展示会] 例年同様、講演会場前ロビーにて展示会を実施します。

12月11日（木） 11：30～12：30, 15：40～17：00

12日（金） 8：30～9：30, 10：50～11：10, 12：30～13：50

【講演内容等に関する問合せ先】

乾 哲郎（NTT 未来ねっと研究所）

〒239-0847 横須賀市光の丘1-1

TEL [046] 859-2455, FAX [046] 859-5541

E-mail : inui.tetsuro-ocs@lab.ntt.co.jp

【参加申込に関する問合せ先】

市井健太郎（フジクラ）

〒285-8550 佐倉市六崎1440

TEL [043] 484-2197, FAX [043] 481-1210

E-mail : kentaro.ichii@jp.fujikura.com

主催 光通信システム研究専門委員会

協賛 IEEE Communication Society Japan Chapter, IEEE Photonics Society Japan Chapter, 超高速フォトニックネットワーク開発推進協議会（PIF）, フォトニックネットワーク研究専門委員会（PN）, 光通信インフラの飛躍的な高度化に関する時限研究専門委員会（EXAT）

## ●第28回多値論理とその応用研究会

座長 井口幸洋（明大）

日時 平成27年1月10日（土） 13：30～18：30

11日（日） 9：15～12：25

会場 てんぶす那覇3F 会議室1番・2番（那覇市牧志3-2-10. [http://www.tenbusu.jp/shisetsu\\_riyou/access/index.html](http://www.tenbusu.jp/shisetsu_riyou/access/index.html)）

講演プログラム

10日

1. 多状態システムの解析で用いられる様々な評価尺度について（仮） ○永山 忍（広島市大）・笹尾 勤（明大）・Jon T. Butler（NPS）・Mitchell A. Thornton・Theodore W. Manikas（SMU）

2. 組み込み機器と携帯端末を用いた計測及びデータ処理システムの開発

○新垣 友・宮城武志・仲程基経・長田康敬（琉球大）

3. 単眼カメラによるジェスチャーインターフェースの構成について ○島袋洋一・長田康敬（琉球大）

4. 高位合成を用いた数値計算用アクセラレータの設計と評価 ○仲宗根宏貴・長田康敬（琉球大）

5. レーザ網膜走査型HMDによる弱視の視認支援への検討（仮）

○村井保之（日本薬科大）・鈴木 誠・菅原 充（QD レーザ）・巽 久行・宮川正弘（筑波技大）

6. 視覚障害補償のための触指位置の検出と情報共有（仮）

- 巽 久行（筑波技大）・村井保之（日本薬科大）・宮川正弘（筑波技大）
7. ナノミスト噴霧器の開発とその応用 ○淡野公一・田村宏樹・外山貴子（宮崎大）
  8. 粘菌ニューラルネット回路を用いた A/D 変換器 ○石田宇一・和保孝夫（上智大）
  9. 適合度関数をもつ SIG ファジィ推論モデルに関する一考察（仮） 関 宏理（関西学院大）
  10. 非可換剰余束の商構造について ○近藤通朗（東京電機大）・河口万由香（北大）
  11. 近世以前の日本における算術について（仮） 北橋忠宏

11 日

1. 有害動画の検出法 ○高山朱門・井口幸洋（明大）
2. 不完全定義インデックス生成関数の変数削減のためのヒューリスティックについて  
○小林俊宏・笹尾 勤・井口幸洋（明大）
3. RNS に基づく FFT と電波望遠鏡分光器への適用  
○中原啓貴（愛媛大）・笹尾 勤（明大）・中西裕之（鹿児島大）・岩井一正（国立野辺山天文台）
4. 動的パラメータ変更を導入したコーシー適応型粒子群最適化法を用いた光通信チップの調整法  
吉丸直人（鹿児島大）・○中原啓貴（愛媛大）・大島賢一・井上拓弥（鹿児島大）
5. 多値信号伝送のシグナルインテグリティ解析に関する基礎的考察 ○石神貴識・弓仲康史（群馬大）
6. ストカスティック演算に基づく高信頼低消費電力画像処理プロセッサの構成  
○片桐大作・鬼沢直哉・羽生貴弘（東北大）
7. 符号化技術を活用した低消費電力不揮発 LSI の構成と評価 ○阿久津昶明・夏井雅典・羽生貴弘（東北大）

#### 参加方法

参加資格 特になし

参加費 資料代 1,500 円（予定）を申し受けます

参加申込 当日会場で受付

#### 【会場連絡先】

長田康敬（琉球大工学部電気電子工学科）

E-mail : [ngt@eee.u-ryukyu.ac.jp](mailto:ngt@eee.u-ryukyu.ac.jp)

主催 デイベンダブルコンピューティング研究専門委員会

共催 多値論理研究会

◎多値論理研究会のホームページ <http://mvl.jpn.org/>

### ●第 6 回ネットワークソフトウェア研究会

委員長 新津善弘（芝浦工大）

研究会の内容

ネットワークシステム研専配下の第二種研究会であり、ネットワークの変革がソフトウェア技術にもたらすインパクトや、ソフトウェアの技術革新がネットワークサービスに及ぼす変革に対して問題意識を持ち、ネットワークソフトウェア技術に対する要求条件や実現技術について研究・実用化の両面に関して議論をします。

期日 平成 27 年 1 月 22 日（木）、23 日（金）

会場 八丈町商工会（八丈島）

テーマ：ネットワークの仮想化とネットワークソフトウェア技術＋一般（ネットワークシステム研究会と併催）

#### 概要

NFV（ネットワーク機能仮想化；Network Functions Virtualization）など、通信ネットワークへの仮想化技術の導入に注目が集まっています。従来、通信事業者が専用のハードウェアによって実現してきたネットワーク機能をソフトウェアによって実現し、本ソフトウェアを仮想化プラットフォーム上で動作させることで、ネットワーク機能の動的な削除や変更、ネットワーク構成の柔軟な変更や迅速なサービスの導入が可能となることが期待されます。また、これらネットワーク機能をサービスアプリケーションから容易に制御可能となることが予想されます。

本研究会では、サービスアプリケーション開発者の視点、通信ネットワークを運用する通信事業者の視点等、様々な立場から仮想化時代のネットワークソフトウェアに対する要求条件や望ましいアーキテクチャ等について議論し、新しい研究課題の発掘や進行中の研究の更なる進展を目指しています。

本研究会の特徴

参加者の産学のバランスがよく、更に時間にとらわれず活発に議論する風土がありますので、発表者は様々な角度から多数のフィードバックを得ることができます。また、他研究会には例を見ない独特の発表形式を採用しておりますので、発表者は目的に応じた議論を自由に展開することができます。これにより、検討結果の発表だけでなく検討経過や問題提起等についても発表・議論して頂けます。

また、本研究会では、議論を促進することを目的としてディスカッション賞を設けています。有意義なディスカッ

ションを頂きました参加者が受賞対象となります。是非活発な議論をお願い致します。

**【発表形式】** 下記2種類の発表形式からお選び下さい。

・一般講演：掘り下げた議論を御希望の方向け

1件当たり標準で50分。発表者からのプレゼンテーションは20～25分とし、残りの時間を質疑応答に割り当てることで、深く掘り下げた議論や多様な視点からの広範なフィードバック獲得が可能となります。

・ポジションペーパー：構想段階等にて意見を収集したい方向け

1件当たり約5～15分程度で、一般講演するほどの内容ではないが、是非意見交換をしたい内容などについて、発表者の目的に応じた自由な形式で議論して頂けます。

**【各種締切】**

一般講演申込み：12月17日（水）

一般講演原稿提出：12月24日（水）

ポジションペーパー申込み：12月24日（水）

研究会参加申込み：12月24日（水）

参加費振り込み：1月14日（水）

**【一般講演の申込と原稿提出】**

・申込方法

講演者氏名、共著者名、所属、講演題目、概要（400字程度）、連絡先（住所、E-mailアドレス、電話番号）、講演者の方の参加費種別（一般／学生）を明記の上、期日までに電子メールでお申し込み下さい。講演者の方は参加申込みもされたものとみなしますので、下記参加申込みに関する注意事項も合わせて御確認下さい。

・原稿提出方法

PDFファイルにて、電子メールでお送り下さい。PDFファイルは全てのフォントを埋め込んで作成して下さい。原稿の体裁は規定していませんが、PowerPointなどの発表スライドを原稿として提出される場合は、1ページ当たり1スライドとなるようPDF化して下さい。発表スライドで頂きました原稿は、投稿状況に応じて1ページ当たり2スライドまたは4スライドの形式で予稿集へ掲載させていただきますので、あらかじめ御了承下さい。

**【ポジションペーパーの申込と原稿提出】**

申込方法は、上記の一般講演と同様です。原稿は、PDFファイル（A4判1枚・様式自由）にて、電子メールでお送り下さい。

※ポジションペーパーの申込・原稿提出は上記期日を過ぎてからも受け付けます。ただし期日以降の申込・原稿提出を御希望の方は、事前に電子メール等にてお問い合わせ下さい。また期日以降の申込では予稿集に氏名・所属が掲載されませんので御注意下さい。

**【参加申込】**

氏名、所属、連絡先（住所、E-mailアドレス、電話番号）、参加費種別（一般／学生）を明記の上、期日までに電子メールでお申し込み下さい。研究会に参加した方々の議論・意見交換活性化のため、当日紙配布する参加者名簿に氏名・所属・E-mailアドレスを掲載予定ですが、問題等ございましたら御連絡下さい。

**【参加費（予定）と参加費支払方法】**

一般 7,000円、学生 3,000円

参加費を期日までに下記口座へお振り込み下さい。なお、振込後の参加費の返還には応じかねますので、御了承下さい。請求書が必要な場合は、参加申込の際にその旨をお知らせ下さい。

〈振込先口座〉

銀行名：みずほ銀行 支店名：三鷹支店

口座名：ネットワークソフトウェア研究会 口座番号：普通 4298770

**【予稿集の事前配布】**

講演内容の理解促進及び質疑応答の更なる充実を目的に、希望する参加者の方へ予稿集を事前配布（郵送）します。事前配布を希望される方は、参加申込の際にその旨をお知らせ下さい。なお、期日までに参加費を振り込むことが事前配布の条件となりますので、御了承下さい。

**【講演・参加申込先・原稿提出先】**

北野雄大（NTT）

〒180-8585 武蔵野市緑町3-9-11

TEL〔0422〕59-3890

E-mail：ns-nws-kanji@mail.ieice.org

**【研究会全般に関する問合せ先】**

奥谷武則（NTT）

TEL〔0422〕59-3805

主催 ネットワークシステム研究専門委員会ネットワークソフトウェア研究会運営委員会

●アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ（第48回）  
「移動通信システム用アンテナの設計思想と基地局アンテナ実現技術」

実行委員長 新井宏之（横浜国大）

アンテナ・伝播研究専門委員会では、関連する研究専門委員会と連携して、1994年度から第二種研究会として「アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ」を開催して参りました。これは、アンテナ・伝播研究者や技術者を主たる対象に、設計・解析力の向上を図ることを目的とするもので、これまでにモーメント法及びFDTD法によるアンテナ解析、アレーアンテナの適応信号処理及び高分解能到来波推定法、移動通信における多重波伝搬理論、アンテナ測定法、人体ファントムとアンテナ評価技術、アレーアンテナ設計の基礎、無線タグ用アンテナ設計、メタマテリアルの基礎などをテーマに、これまで47回のワークショップを企画し好評を頂いております。

前回、第47回ワークショップでは、移動通信システムにおける基地局アンテナをテーマとして開催致しまして、多くの方に参加頂きました。そこで、今回の第48回ワークショップでは、第47回と同じ内容のワークショップを、電子情報通信学会総合大会に併せて京都で開催致します。本講義は前回と同様、移動通信システム技術者及びアンテナ技術者を対象とします。移動通信システム全体におけるアンテナの仕様設定からこれに合わせた設計・構成・測定のための実用的な技術の習得を目的とします。

講師 長 敬三（千葉工大）

講義内容

- (1) 移動通信システムからみたアンテナ仕様の考え方
- (2) 基地局アンテナの構成技術
- (3) 基地局アンテナの評価技術
- (4) 実用基地局アンテナの構成例
- (5) 将来に向けた基地局アンテナ技術

上記の講習内容は、若干変更することもございますので御了承下さい。なお、テキストは受講者に約3週間前に配布され、予習して頂くことを前提としています。

日時 平成27年3月9日（月）9:30~17:00

会場 京都福祉会館第5会議室（京都市上京区堀川丸太町下る（二条城北側）、京都市営地下鉄「二条城前駅」より徒歩10分、<http://www.kyo-syafuku.net/>）

受講定員 80名

受講料（テキスト代金を含む）

- 一般/会員 15,000円、非会員 25,000円
- 学生/会員 5,000円、非会員 10,000円

申し込み受け付け後、事務局から受講受付番号と受講料振り込み案内をお送りしますので、それに従って受講料をお支払い下さい。会員価格での受講を希望される方は、受講申込書に会員番号の記載が必要になりますので、御注意下さい。学会への入会手続き中の方は、学会へ提出した入会申込書のコピー等、入会を確認できる資料の提出をお願いします。会員/非会員の受講料の差額は、一般の方については電子情報通信学会年会費のほぼ3/4、学生の方については年会費を上まわっております。非会員の方には、この機会に、電子情報通信学会への入会をお勧め致します。入会に関する情報は下記のURLを御参照下さい。

電子情報通信学会入会案内：<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>

受講申込み期間 平成26年12月1日（月）～平成27年1月20日（火）

（先着順：満員になり次第締め切ります。期日前の申し込みは無効です。）

【受講申し込み方法】 下記URLからお申し込み下さい。

なお受講申込後1週間以内に事務局からの回答がない場合には、総務担当幹事へ申込受付確認の連絡をお願い致します。

<http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/index.php?ws/ws48>

（上記URLから、まえがきと目次のPDFファイルが確認できます。）

【問合先】

アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ第48回実行委員会  
総務担当幹事 榎原久二男（名工大）

E-mail：sakaki@nitech.ac.jp

TEL & FAX [052] 735-5416

主催 アンテナ・伝播研究専門委員会

協賛 IEEE AP-S Tokyo Chapter